

「SQL 1105」エラー メッセージはということ を意味するか。

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[どのようにログかデータベースが完全であるかわかることができますか。](#)

[ログとデータベースの違いとは何か。](#)

[どの程度トランザクションログはある必要がありますか。](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

「SQL 1105」エラー メッセージがなぜ表示されるかこの資料に説明されています、エラーがデータベースかトランザクションログに関連している識別し、考えられる解決策をかどうか提供します。

[前提条件](#)

[要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Intelligent Contact Management (ICM)
- Microsoft SQL Server

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.6.2 以降
- Microsoft SQL バージョン 6.5 および 7.0

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

どのようにログがデータベースが完全であるかどうかかわかることができますか。

「SQL 1105」エラーメッセージが表示するとき、時々データベースが完全であるか、またはトランザクションログが完全であるかどうか識別できません。

Cisco ICM データベースがデータのための領域を使い果たすとき、「1105 17 1」エラーメッセージ現われます。このメッセージはデフォルト セグメントが完全であるので SQL サーバが領域を割り当てることができないことを示します。これは破損 データベースという結果に終る場合があります。以前にバックアップされたコピーと破損 データベースを取り替えることができます。データベースが完全である場合、より古いデータを削除するか、またはデータベースのサイズを増加できます。Cisco ICM は **ページ調整** および **Auto Purge** 機能のと同じようなアラームトラッカーとのこの状況から保護します:

```
HDS1: Begin Automatic Purge:
```

```
95% of the available data space is used in the xxx_hds database.
```

トランザクションログが領域を使い果たすとき、「1105 17 2」エラーメッセージ現われます。このメッセージはログ セグメントが完全であるので SQL サーバが領域を割り当てることができないことを示します。この問題を解決するために、トランザクションログのサイズを増加するか、またはトランザクションログをクリアできます。トランザクションログをクリアする方法に関する詳細については [SQL サーバのトランザクション ログをクリアする方法](#)を参照して下さい。

State 1 または **State 2** エラーが発生するとき、SQL サーバはデータベースに対してもう処理しないし、アラームトラッカー イベントは現われます。通常、`\mssql \errorlog` ディレクトリに常駐する SQL エラー ログ ファイルのエラーを表示できます。DOS コマンドプロンプトで、このディレクトリに変更する `cd` コマンドを発行し誤信をリストする `type errorlog` コマンドを発行して下さい。

従って、1105 エラーメッセージの **State 1** トランザクションログは完全であることを **State 2** 示すがデータベースが完全であることを意味します。各エラーメッセージの種別の例はここにあります:

```
Error : 1105, Severity: 17, State: 1
```

```
Can't allocate space for object '6' in database 'xxx_sideA' because the 'system' segment is full. If you ran out of space in Syslogs, dump the transaction log. Otherwise, use ALTER DATABASE or sp_extendsegment to increase the size of the segment.
```

```
SQL Server System Error: 1105, State 2, Severity: 17,
```

```
Message: Can't allocate space for object 'Syslogs' in database 'xxx_sideA' because the 'logsegment' segment is full. If you ran out of space in Syslogs, dump the transaction log. Otherwise, use ALTER DATABASE or sp_extendsegment to increase the size of the segment.
```

```
SQL SERVER DATABASE xxx_sideA IS OUT OF SPACE.
```

注: xxx はインスタンス名を表します。

ログとデータベースの違いとは何か。

各 SQL サーバ データベースにデータベース変更を記録するトランザクションログがあります。データベースサーバ、Historical Data Servers (HDS) およびディストリビューター Administrative Workstations (AW) の Cisco ICM データベースにディスクで割り当てられ、Cisco ICM データとは別にあるトランザクションログがあります。

Database 列を挿入するか、または削除する度に、SQL サーバはトランザクションログにその列を書きます。行をアップデートするとき、SQL サーバはログに古いのおよび新しいデータを記録します。新しいオブジェクトを作成し、権限を修正し、ユーザを追加し、割り当てるとき表のための領域は、SQL サーバ ログの関連したトランザクションを記録します。

トランザクションログが完全にいっぱいになるとき、データベースへの変更は無効になります。従って、トランザクションログで利用可能な空き容量は密接に管理する必要がある Cisco ICM データベースへ極めて重要なリソースです。

[どの程度トランザクションログはある必要がありますか。](#)

データベースを作成するときトランザクションログのサイズを設定しました。トランザクションログのサイズはデータベース サイズによって決まります。一般に、AW DB のためのトランザクションログのサイズは 100 MB から 200 MB にあり、自動記録器および HDS のためのトランザクションログ サイズは 200 MB から 500 MB にある必要があります。

Cisco はデータおよびログが別々の SQL デバイスに常駐するように Cisco ICM データベースを作成することを推奨します。データおよびログオンを同じデバイス置く場合、領域のために競います。データおよびログを分けるとき、パフォーマンスは改良します。これは領域をより効率的に管理することを可能にします。データベースが領域を使い果たす場合、生成されたエラー メッセージはデータ ストレージ エリアが完全である、またはトランザクションログが完全であるかどうかわかります。データおよびログを結合する場合、データ ストレージ エリアかトランザクションログが完全なとき知らせられません。

[関連情報](#)

- [SQL サーバのトランザクション ログをクリアする方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)